

～ 第 7 回 AT を終えて～

今年最後の試験 12 月 AT が終わりました。やり直しなど今年の振り返りができているでしょうか。各教科からのコメントを読み、冬季休業中の学習に役立ててください。

<p>国語</p>	<p>現代文今回は、記述の問題を多く出題しました。課題での百字要旨の成果もあって、変な文を書く人は減ってきたように思います。日頃から、自分が書いた文を読み直す習慣をつけてください。また、漢字の小テストではできるのに、AT だとできない、課題プリントと同じ問題なのにできない、という人も多かったようです。これらの人々は、勉強の仕方に問題はありますか？自分の勉強の仕方を見直して、有意義な冬休みを過ごしてください。</p> <p>古典つまる所、ちゃんとやれている者は“助動詞問題”（使役「す」未、意志「む」終）も取れて“用言おさらい問題”（ナ行変格活用、形動ナリ活用）も取れる。雑な者は“助動詞問題”は取れても“用言おさらい問題”で取りこぼす。全く手が回っていない者は“助動詞問題”も“用言おさらい問題”も取れない。見かけ上の“点の差”に、めいめいの古典学習の「現状」レベルがモロに出ている。<u>ショートステップで AT を受ける本校生は、他校生より自分の「現状」レベルを自覚するチャンスが早くて多い。</u>AT というものを、そういう風に自分の為に活かして欲しい。</p>
<p>数学</p>	<p>数学 I 1 組から 6 組 ☆別の平均得点は☆ (25 点)・☆☆ (23 点)・☆☆☆ (5 点) で合計 52 点です。基礎☆問題は三角比の表を覚えている生徒は 30 点満点を取っていました。☆☆ (標準) まではもう少し出来てほしいところです。答案用紙の NO.2 になった途端、正解率が極端に下がります。応用力をつけるために、冬休み課題にしっかり学習に取り組みましょう。</p> <p>7 組 No. 1 のデータの分析の方が良く出来ていました。まだまだ、三角比の問題は気付かないところが多いようなので、たくさん問題を解いてパターンに慣れましょう。</p> <p>数学 A 今回は「整数の性質」を範囲とする試験でしたが、1～6 組・7 組とも全体としては平均点や分布など、久しぶりにほぼ期待通りの点数が取れていました。このことは大いに評価をしたいと思います。反省点を言えば、答えを求めていく段階で論理的な理由があるにも関わらず、そこを省略した（十分に理解していない）答案が少し目についたことです。あくまでも「なぜ？」に拘った学習を積み重ねることが、学力を伸ばすためには必要です。</p>
<p>英語</p>	<p>コミ英授業時に話をしましたが、進研模試やセンター試験を意識していくつか作問しました。大問 7 の discourse marker(談話標識)は長文を読むには不可欠な知識なので必ず覚えること！また、大問 6 や 8 ができなかった者は、日頃長文を読む際に今まで以上に paragraph reading を意識した取り組みをしよう。木を見て森を見ず（単語の意味に固執し、文章全体の流れを読み取ることができない）では対応できません。1 月進研は問題が難しくなります。有意義な冬休みを過ごしてください。</p> <p>英表ここ数回同じ形式でテスト作成をしてきました。範囲内の全ての問題の中からシャッフルして提出をするというのですが、話を聞いていると事前の準備の段階で何度か問題を解いている人も、抜き出して出題されると対応できていない人が多いようです。一つ一つの理解が進んでおらず、ただ丸暗記で、その順番でその問題として出た時しか使えないようになっていないのではないかと推測します（点が取れている人もその分野の応用問題ができないこともありそうです）。参考書をよく読んで理解を深めたり、準備段階であえてランダムに問題を解いてみたりするなど、本当に力のつく準備をして試験に望んで欲しいと思います。</p>
<p>日本史 A</p>	<p>今回の AT に向け、全体的に頑張っていたと捉えています。この科目は受験科目ではないですが、今皆さんが勉強していること(自国を知ること)は重要なことです。今後も歴史的教養を身につけ、現在起こっている社会事象と結びつけることができるような授業を展開していきます。</p>
<p>地理 A</p>	<p>「今回の地理 A は、今までよりも難易度を上げる」と、事前に予告していました。それを踏まえた勉強をしたかどうか、はっきりと分かる結果となったというのが感想です。授業では、資料から考えたり、地図の作業学習をしたりと様々な内容を扱います。単に語句を暗記するのではなく、考察した内容を理解し解答できるような学習をしましょう。</p>

世界史A	世界史Aの第3回が終了しました。自己評価はいかがですか？平均点も高く、しっかりと準備した方には物足りなかったのではないかと思います。次回の2月ATで最後となります。大事にして欲しいのは「ヒト・モノ・コトを知る→流れと関係性を理解する→説明する」というプロセスです！この流れは日本史でも地理でも違いはありません。残りの授業を次年度に繋げて下さい。
生物基礎	今回のATは、試験勉強の取り組みが甘かった生徒が多かったような気がします。解答を見ても最初の大問1はよくできているのに、後半になって大問6・7になると出来具合が極端に悪くなりました。試験勉強が最初や途中で終わっていて、範囲の最後まできちんと勉強ができていないからです。これからは試験範囲内を徹底して勉強して、試験に臨んでほしいと思います。次の1月ATは冬休み課題からの出題です。休み中に繰り返し勉強して、ATに臨んで下さい。
物理基礎	今回の12月ATと次回の1月ATで、物理基礎で最も重要な単元「力学」が終了します。今回出題した「仕事」、「力学的エネルギー」、「摩擦」の分野は次回も範囲となりますので、誤答ノートでしっかり復習しておいて下さい。冬休み課題も丁寧に取り組んで、1月ATでの高得点を狙ってください。
家庭基礎	試験範囲が広く問題の傾向が少し難しくなった結果、平均点が下がり残念でした。保育実習など楽しい授業も大切にしながら授業を良く聞き理論も学びましょう。

クラスマッチ結果発表

【クラス総合】
第1位
6組



第2位 5組, 第3位 1組、2組

【種目別】	長縄	男子サッカー	男子バスケ	女子バレー	女子バド
第1位	5組 (23回)	6組	5組	2組	1組
第2位	7組 (17回)	3組	6組	6組	4組
第3位	6組 (16回)	1組	4組	7組	5組



乳幼児ふれあい体験の様子

まだ1歳にならない赤ちゃんから元気に走り回る子、人見知りの子。試行錯誤し一生懸命遊びを考えました。取材も受け、どのクラスも楽しい時間を過ごしました。

◎1月の日程◎

1月 8日 (金) 授業開始日	1月17日 (日) 学研ハイレベルテスト
1月11日 (月) 成人の日	1月23日 (土) 進研記述
1月12日 (火) ~ 13 (水) 1月AT	1月24日 (日) 英検1次
1月16日 (土) 土曜講座	

